

進んで学ぶ

- ・既習の知識や資料、自分との関わりから解決したい課題を設定する。
- ・予想や仮説を立て、解決方法や手順の見通しをもって学習に取り組む。
- ・予想や仮説に基づいて、試行錯誤しながら課題を追究する。

協働し、考えを創り出

- ・他の意見を的確に捉えて聴き、多様な考えを受け入れ、思考を整理する。
- ・根拠を示したり理由や結論を明確にしたりして説明する。
- ・目的を自覚し、多様な考えを比較したり関連付けたりして検討し合い、最適解や納得解を考える。

学びを確かめ活かす

- ・学んだことによさや価値が、どのように自分の成長に役立ったかを自覚する。
- ・学んだ内容や学び方を次の学習で活用したり、新たな課題を見付けたりする。
- ・学んだ内容や学び方を生活や社会の課題などと関連付けて考え、生かそうとする。

南中生として身に付けたい情報活用能力

a 1	ローマ字入力で短い文章の入力ができる。 (1分間40字以上)
a 2	デジタルカメラや端末等で撮影した画像や動画を必要に応じて編集することができる。
a 3	新聞やテレビからの情報には、視点を変えることで色々な見方ができることを知っている。
a 4	解決の方法を考えるときには、変える条件と変えない条件を整理することを知っている。
a 5	課題を解決するためにその手順をフローチャート等に図示して、簡単なプログラムを作ることができる。
a 6	見いだした問題に対して、解決の方法を考えることができる。
a 7	表やグラフから必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。
a 8	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツール等に整理して表すことができる。
a 9	課題に合わせていろいろな方法で情報を探し、それを比較して活用することができる。

b 1	知りたいことをキーワードを組み合わせたリ、検索サービスを選んだりして調べることができる。
b 2	表計算ソフトを使って、適切な表やグラフ(目盛りやグラフの種類など)を作ることができる。
b 3	写真や図や文章のレイアウトを考え、見やすさを考えたスライドを作ることができる。
b 4	話し手の言いたいことを考えて聞き、大事だと思うことをメモにとることができる。
b 5	調べた情報を他の情報と比較したり他の人の意見を聞いたりしながら話し合うことができる。
b 6	自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。
b 7	調べたことを、表やグラフを作成したり、写真や図を用いたりして、スライド等にわかりやすくまとめて発表することができる。
b 8	伝えたいことが受け手にきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方を振り返ることができる。
b 9	情報を調べて分析し、まとめて発表したりする学習では、必要に応じて自分から端末を活用することができる。

c 1	コンピュータによって自動化されて、生活が便利になったものを知っている。
c 2	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、見ないようにして人に相談する。
c 3	自分の文章の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「〇〇〇」でくくって書く。
c 4	個人情報やID(ユーザー名)パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理できる。
c 5	情報を発信するときには、その情報が残ったり広がったりする危険性があることを理解している。
c 6	人の写真を撮る時や他の人の作ったものや情報を使うときはその人の許可をとっている。
c 7	知りたいことを複数の方法で調べ、情報(ホームページも含め)を比較し、必要なものを選んでまとめることができる。
c 8	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人に分からないようなものにしていく。
c 9	SNSなどでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど考えることができる。